

早稲田大学気仙沼チーム

地域交流・地方創生・東日本大震災復興支援



私たちは東日本大震災直後の早稲田大学と宮城県気仙沼市のつながりから発足し、以来、継続的に復興支援活動に取り組んできました。気仙沼稲門会をはじめとした気仙沼の方々との交流、気仙沼訪問時の公募参加者へのスタディツアー実施のほか、東京で開催されるイベントへも参加しています。

2024 年度は、8 月のみなとまつり便をはじめとして、5 回以上気仙沼を訪問しました。イベント運営のボランティアから学習支援と、幅広い活動を通じて、様々な方と出会うことができます。東日本大震災から 14 年を迎え、震災当時の姿だけでなく現在の魅力も発信することで、気仙沼がより活気溢れる元気な街になるよう復興支援を行っています。

◆活動計画

4 月：新歓活動 5 月：新入生歓迎イベント 6 月：新入生气仙沼初訪問 8 月：みなとまつり便 9 月～11 月：東京でのイベント運営ボランティア 11 月：早稲田祭出店
3 月：スタディツアー、東日本大震災追悼企画（予定）
そのほか 2・3 ヶ月に 1 回程度、現地訪問を行います。

◆Episode

気仙沼を支える人との出会いが、私たちの活動の原動力になる。早朝、まだ少し更地の目立つ魚市場前にポツンと、できたばかりの食堂と銭湯を見つけた。初めて来た私たちも「早稲田の気仙沼チームか！毎年お祭りの手伝いとかがありがとね」と笑顔で迎え入れてくれた。「防潮堤建設で失った銭湯を漁師さんのために復活させたくてね」しみじみと女将さんは語る。昔から行き交う人々を大切にしてきた港だから、垣根のない優しい人たちで溢れているんだと実感した。

この街の復興の無限大の可能性と魅力は人にある。こうした幾つもの「出会い」と「ご縁」に感謝し、「ご縁」を繋ぐことで、ささやかながら気仙沼をより元気にするお手伝いをしていきたい。

問い合わせ先	kpjt2011@gmail.com
メンバー数	46 人
参加費用	会費：300 円（2025 年度予定） 現地活動：随時
活動時期・頻度	二・三か月に一度の気仙沼訪問 その他週に 1 回程度ミーティング

